

合同常任委員会

「開かれた議会へ一歩」

定例会2日目、総務、文教厚生、経済建設常任委員会の合同委員会を開催。委員会協議により、初めて常任委員会傍聴を許可し、活発な質疑の様子を傍聴されました。

国民健康保険条例の一部を改正する条例について

(古澤議員)

出産一時金の39万円はいつからか？

(村長)

本文では35万円との規定があるのを、時限的に繰り上げて実施してきたので、今回本文で39万円と規定し直した。



議員席

村道路線の認定について

(下田議員)

両併地区のこの道路は現在村道か？

(建設課長)

現在は白川左岸の護岸で、現況は管理道路という位置付けになっている。認定を受けた後に拡幅工事等にも取り組みたい。

22年度一般会計補正予算の議決について

(井芹議員)

両併地区圃場整備事業の内訳は？

(農政課長)

総事業費9億7千万円、面積46・9ヘクタール、農道拡幅800メートル、27年度までの予定だが遅滞気味。

(安達議員)

村の持ち出しと自己負担の割合は？

(農政課長)

村が1億3千万円、自己負担は事業費の10%で、約167,000円



傍聴席

(反当)となる。

(脇坂議員)

保健衛生費の予防費と保健事業費が大幅に減額されている理由は？

(健康推進課長・審議員)

検診関係については予算が足りないを実施できないので多めの予算を組んでいたが、受診率のアップができず減額した。

(大塚議員)

有機農業振興について具体的な計画は？

(農政課長)

どう進めていくかを含めた資料を作成中。

23年度一般会計の議決について

(北野議員)

23年度の職員給与はどのような基準で決めたのか、また差額調整は終わったとの認識か？

(総務課審議員)

平成19年4月に旧長陽村の昇格基準に合わせて一本化し、その後はそれに基づいて算出しているのでしょうか？

(北野議員)

人事評価に関して計算上はどのようにしているのか、また23年度の給与に反映しているのか？

(総務課審議員)

また試行期間中で各部署においてバラつきがあり、それが改善された後に反映させたい。